



第11回 「Claude Code 101」
Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

MCP（外の道具につなぐ）

公式の教材を、順番に

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

この資料について



原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）Claude Code 101 / MCP

原文の流れと節の並びをそのままに、要点を落とさず日本語にしています

全51回の、今日はここ



原石工房

Claude Code 101

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

第1回～第12回

Claude Code in Action

13 14 15 16 17 18 19 20 21

第13回～第21回

スキル

22 23 24 25 26 27

第22回～第27回

手分け (subagents)

28 29 30 31

第28回～第31回

MCP 入門

32 33 34 35 36 37 38 39 40

第32回～第40回

MCP 応用

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

第41回～第51回

今日はここ 第11回

今日のレッスン



原石工房

Claude Code 101 の11こめ

原題 MCP

訳 MCP（外の道具につなぐ）

4つの節と、最後にまとめがあります

このレッスンの流れ



原石工房

教材の並びどおり。この番号が、このあとの見出しに出てきます

① これで何ができるのか

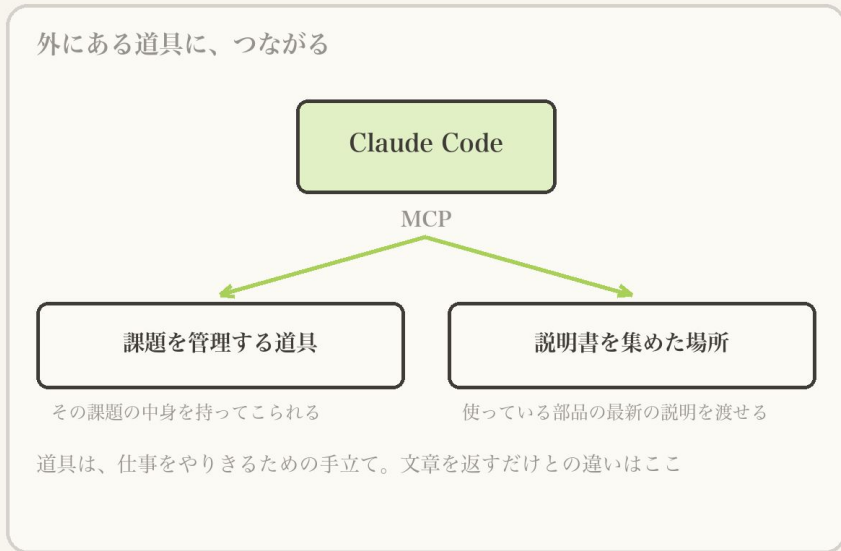
② つなぎ先を足す

③ どこまで効かせるか

④ 場所をどれだけ使うか

① これで何ができるのか

原題 What Can You Do With It?



外の場所にあるものを、こちらへ引いてくる

道具は、仕事をやりきるための手立てです。文章を返すだけのAIと違うのは、ここでした

課題を管理する道具につなぐと、その課題の中身を持ってこられます

説明書を集めた場所につなぐと、使っている部品の最新の説明を渡せます

① つなぐときに、決めることと、見ておくこと



原石工房

つなぐときに、決めることと、見ておくこと

① 足す

claude mcp add

HTTP (外にあるもの)

Studio (自分の機械の中)

② 範囲を決める

Local / User / Project

自分だけか

チーム全員か

③ 場所を見張る

/mcp

使っていないものは切る

1割を超えると切り替わる

つなぐのは簡単。つないだままにしないことが大事

足す・範囲を決める・見張る。この3つ

② つなぎ先を足す

原題 Adding an MCP Server



「claude mcp add」と打つと、つなぎ先を足せます

HTTP 外にあるものにつなぐ。相手側が動かしています

Stdio 自分の機械の中で動かすもの

足すのも、様子を見るのも、切るのも命令1つ

② 「/mcp」で様子を見る

claude mcp add

つなぎ方は2つ

HTTP

外にあるものにつなぐ。相手側が動かしている

Stdio

自分の機械の中で動かす

「/mcp」と打つと

- ・つながっているかが見られる
- ・いまどうなっているかが分かる
- ・切っておくこともできる

つながっているかが見られます

いまどうなっているかが分かります

切っておくこともできます

足すのも、様子を見るのも、切るのも命令1つ

① ② ここで出てきた言葉



原石工房

2つ

MCP

Claude と、外の道具や置き場をつなぐための決まりごと

サーバー

つなぎ先。ここでは「外の道具の窓口」くらいの意味

③ どこまで効かせるか



原石工房

原題 Scoping Servers

どこまで効かせるかを、3つから選ぶ

Local

いまのプロジェクトだけ。自分のためのもの

User

どのプロジェクトでも使える

Project

「.mcp.json」に書いて、変更の記録に入れる

Project にすると、チーム全員が同じつなぎ先を自動で受け取る

Local いまのプロジェクトだけ。
自分のためのもの

User どのプロジェクトでも使える

Project .mcp.json に書いて、変更の記録に入れる。チーム全員が同じつなぎ先を自動で受け取ります

1人で使うのか、チームで揃えるのかで選ぶ

④ 場所をどれだけ使うか



原石工房

原題 Context Costs

つなぎ先は、使っていなくても場所を使う

一度に持っていられる量

道具の説明

(使わなくても入る)

ここが、実際の仕事に使える分

- ・「/mcp」で見て、要らないものは切る
- ・同じことが命令でできるなら、そのほうが軽い
- ・スキルを使う（必要なときだけ読まれる）

※ 道具の説明が1割を超えると、自動で「道具を探す」やり方に切り替わる

つなぎ先は、道具の説明のぶんだけ場所を使います。使っていなくても、です

「/mcp」でつながり具合を見て、要らないものは切ります

同じことが命令でできるなら (gh、aws など)、そのほうが場所を使いません

つなぎっぱなしにしない

④ 1割を超える



原石工房

つなぎ先は、使っていなくても場所を使う

一度に持っていられる量

道具の説明

(使わなくても入る)

ここが、実際の仕事に使える分

- ・「/mcp」で見て、要らないものは切る
- ・同じことが命令でできるなら、そのほうが軽い
- ・スキルを使う (必要なときだけ読まれる)

※ 道具の説明が1割を超えると、自動で「道具を探す」やり方に切り替わる

スキルを使うのも手です (必要なときだけ読まれるので)

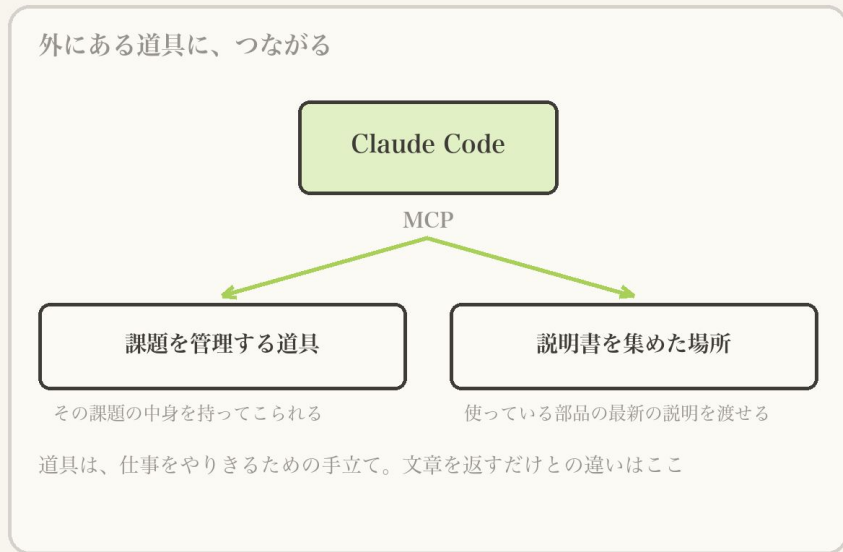
道具の説明が持っている場所の1割を超えると、自動で「道具を探す」やり方に切り替わります

※ 場所＝一度に持っていられる情報の量 (第6回のコンテキスト ウィンドウ)

つなぎっぱなしにしない



原題 Recap



MCP が、外の道具や置き場につないでくれる

「`claude mcp add`」でつなぎ先を足す

外の場所にあるものを、こちらへ引いてくる

まとめ (つづき)



原石工房

どこまで効かせるかを、3つから選ぶ

Local

いまのプロジェクトだけ。自分のためのもの

User

どのプロジェクトでも使える

Project

「.mcp.json」に書いて、変更の記録に入れる

Project にすると、チーム全員が同じつなぎ先を自動で受け取る

.mcp.json に書けば、プロジェクト全体で使える

場所をどれだけ使っているかを見て、使っていないつなぎ先は切る

1人で使うのか、チームで揃えるのかで選ぶ

今回のまとめ



原石工房

この回で押さえるところ

- ・ MCP は、外の道具や置き場につなぐ仕組み
- ・ 足すのは「`claude mcp add`」。様子を見るのは「`/mcp`」
- ・ 効かせる範囲は Local／User／Project の3つ
- ・ つないただけで場所を使う。使っていないものは切る
- ・ 命令やスキルで済むなら、そのほうが軽い

次回



原石工房

Claude Code 101 の12こめ

原題 Hooks

訳 自動で差し込む

全51回の、12回目です

あなたなら、何につながりますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く